

授業科目 整形外科学Ⅱ

【担当教員名】 石田寛友	対象学年	2	対象学科	理学・作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<概要>
整形外科学Ⅰで学習、習得した知識を基に脊椎および運動器官としての四肢を部位別に区分けして代表的な疾患及び治療法について述べる。さらに各種外傷によって生ずる骨・関節・軟部組織、神経組織損傷の初期治療、二次的障害について述べ、それぞれの処置法の基本をわかりやすく講義する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】
理学・作業療法士として将来取り扱う重要な疾患の知識を整理し、応用できるように学習する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	骨関節・肘関節		講義
2	手関節および手指(1)		講義
3	手指 (2)特に機能再建(外傷、先天異常、神経損傷)		講義
4	頸椎		講義
5	胸郭・胸椎		講義
6	腰椎		講義
7	股関節		講義
8	膝関節		講義
9	足関節と足趾		講義
10	軟部組織損傷		講義
11	骨折・脱臼・スネーヅ障害		講義
12	脊椎・脊髄損傷		講義
13	末梢神経損傷		講義
11~13は1~10の各項と関連して繰り返し講義される予定			

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	標準 整形外科学 第7版	寺山修一・辻陽雄	医学書院	9000円
参考書	標準理学・作業療法学 整形外科学	奈良勲	医学書院	
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】 整形外科学Ⅰ・Ⅱの成績を総合的に評価する。
--------	------------------------------------